



天皇陛下御即位奉祝「みんなで祝おう～平成から令和へ～」アリオ札幌で開催

# 道神青

第78号

北海道  
神道青年協議会  
令和2年7月31日



## 二年目を迎えて

北海道神道青年協議会 会長 芦原大記

まずは謹んで聖寿の万歳と皇室国家の弥栄をお慶び申し上げ、神宮をはじめ各御社頭の御隆昌を御祈念致します。

また新型コロナウイルス感染症（武漢肺炎）並びに豪雨被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い終息・復興を心よりお祈り申し上げます。

扱、関係の皆様には昨年一年間、当会に対し格別なるご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年は役員会員の力強い支えの中、計画していた事業を無事終えることができました。

特に令和の御大典が盛大に執り行われ、当会としましては五月二日、天皇陛下御即位奉祝「みんなで祝おう～平成から令和へ」と銘打ち奉祝事業を実施しました。参加された各会員には御代替翌日という社務繁忙時に出席ご尽力いただき、お陰

で無事約三〇〇〇人と多くの来場者をお迎えできたこと誠に感謝に堪えません。なによりも青年神職がそれぞれの持ち味を活かして「one team」でできたことが印象的でした。

そして今期は特に「道神青協の次世代につなげるための会員親睦」をもう一つのテーマにさせていただきました。

私にとつて道神青協は自分を育てていただいた場所。多くの先輩、同世代の会員とともに様々な事業に参加し、情報と刺激と感動を共有し学ばせていただきましたおかげで、広い視野と行動力を養うことができました。この「単位会の枠を超えて学べる時間」は神職人生の中で不可欠なものであると強く思います。

会員の皆様は「知り合いでもないから参加しづらい」「参加してもつまらない」。そういった印象を持たれていることは私自

身も経験し感じていたことですが、実り多い組織としてその環境をいつまでも存続させ、次世代につなげるべく、原点に立ち返り会員の「親睦がしやす」「仲間を作りやすい」環境を念頭に事業を検討しております。

しかしながら今回のコロナウイルス感染症拡大に伴い、定例総会中止に始まり、先の見通しが立たず、会員各位と顔を合わせることすら許されない状況が続いております。会を預かる身として五里霧中をさまよう思いですが、本当に心強い役員のお陰で様々な事業の企画を進めております。

当会としては先ず今回のコロナウイルス感染症拡大については未曾有の大災害ととらえ、災害対策委員会を招集し、全道各社に次亜塩素酸消毒液（カンファスイ）1リットル（四倍希釈）をお配りしました。参拝者が安心して参拝していただけるようご活用いただければ幸いです。

また日本書紀撰上一三〇〇年事業を対内対外ともに新たな切り口で企画検討しております。神職として研鑽を積みながら、

この状況下でも可能な次世代につながる企画としてWEBを使用いたします。恒例の道研修会につきましても今回、初めての試みとしてリモート研修を企画しております。本来であればその地域の名産を頂きながら仲間と共に研鑽と懇親を深める機会でありませんが、今後の実績としても担当の日高地区のご協力の下、今できる研修会を進めて参ります。何卒ご参加頂きますようお願い申し上げます。

その他、ホームページの更新やSNSを使つての情報発信、神明奉仕に役立つ葉作成等、また恒例行事につきましても感染状況をしながら道神青協の歩みを止めることのないよう検討実施してまいります。

今に生きる我々は、大変恵まれた中で活動を行っております。しかしながらこの度の国家最大の重儀たる大嘗祭の諸々の縮小など、見えないところで様々な日本固有の伝統文化が意味なく安易に縮小、途絶え始めていること。日本国存亡の機が目前まで迫っていることをあらためて実感しました。

我々青年神職は、現下の諸問題からかけ離れたところで活動してはいないか、厳しい時代を迎える足元の神明奉仕に全力を注ぎながらも、問題に対して適切な行動を起こしていかなければならない。皇室をはじめ祖先より受け継いだ国柄を次世代に繋げるため本気になつて戦わな

## 北海道神道青年協議会 令和二年度 定例総会を開催

去る令和二年四月二十七日、北海道神道青年協議会定例総会がウェブ会議にて執り行われました。

本年は国内での新型コロナウイルス感染症の流行により、政府から外出自粛を促す緊急事態宣言が発令され、全道の青年神職が、一か所に集まるのが困難な状況であった為、会員の参加を中止し、道神青三役理事のみでパソコンのインターネットを利用してウェブ会議という形で総会を行いました。

ければ、もう我々に先はないと危機感を強め、決意を新たに残り一年この重責を努めさせていただきます。所存です。

最後に諸先輩はもとより会員各位にはこの状況下においてもお力添えを頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。



インターネット回線を利用した Web 会議

前述の通り全会員の参加がでない状況でしたので、予め事務局より全会員に総会資料と資料への質問用紙を郵送し、会員から質問があつた場合は単位の理事が質問や意見を取り纏め提出するという方法をとることで、感染症対策や総会の内容充実などの工夫がなされました。

当日は午後二時より役員会と併せて総会が開催され、芦原会長の挨拶の後、事務局より議題に沿って説明が行われ、全ての議案が承認されました。会員からの質問、意見は四件届いており、後日全会員に質問の内容とその回答を送付する旨が説明されたのを最後に、総会は無事閉会しました。

新型コロナウイルスの影響により会の活動自体が困難な中、インターネットを使った柔軟な対応。また、全道会員の理解と協力があつたからこそ、この難局を乗り切ることができたのだと思います。

苦前神社  
宮司 瀧川慎吾

# 令和二年度 一般会計 歳入・歳出予算案

【資料第二】

## 令和元年度 一般会計歳入歳出決算書

1、歳入金額 3,109,370 円也  
 1、歳出金額 2,589,138 円也  
 1、差引残額 520,232 円也

自 令和元年4月 1日  
 至 令和2年3月31日

【収入の部】 (単位:円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1、会費	755,000	820,000	-65,000	5千× 151名
2、協賛金	1,185,000	1,200,000	-15,000	本年度協賛金
3、助成金	230,000	230,000	0	神社庁20万・神青協3万
4、雑収入	506,852	33,482	473,370	利息・祝儀他
5、繰越金	432,518	432,518	0	前年度より
6、繰入金	0	0	0	
合計	3,109,370	2,716,000	393,370	

【支出の部】 (単位:円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1、神事費	30,000	30,000	0	玉串料(北海道神宮・北海道護国神社・樽前山神社)
2、負担金	329,000	329,000	0	会員贈去金246,000円(1,500円×164名)、地区贈去金5万、早賀至礼応答3千、日本金協北海道本部3万
3、事務通信費	251,483	300,000	-48,517	事務郵便料・事務所費
4、会議費	271,496	300,000	-28,504	
①会議諸費	121,496	150,000	-28,504	
②役員旅費	150,000	150,000	0	役員交通費補助、打切支出
5、活動費	1,520,251	1,500,000	20,251	
①事業費	726,387	700,000	26,387	交際総会・スポーツ大会・研修会・新春研修会 交下天候 ほか
②広報費	293,864	300,000	-6,136	通信作成費・送料 ホームページ維持費
③神青協関係費	500,000	500,000	0	神青協出向補助50万、打切支出
6、慶弔費	34,400	50,000	-15,600	祝儀・弔電・葬儀玉串料
7、会長交際費	70,000	70,000	0	会長交際費補助、打切支出
8、雑費	0	27,000	-27,000	
9、積立金	50,000	50,000	0	本年度積立金
10、予備費	32,508	60,000	-27,492	「令和」クリアファイル製作代
合計	2,589,138	2,716,000	-126,862	

3,109,370 円 - 2,589,138 円 = 520,232 円  
 差引残額 520,232 円 を次年度一般会計繰越金とする。

【資料第十四】

## 令和2年度歳入歳出予算書(案)

1、一般会計

【収入の部】 (単位:円)

科目	予算額	前年予算額	増減	備考
1、会費	755,000	820,000	-65,000	5千× 151名
2、協賛金	1,200,000	1,200,000	0	本年度協賛金
3、助成金	230,000	230,000	0	神社庁20万・神青協3万
4、雑収入	4,768	33,482	-28,714	利息・祝儀他
5、繰越金	520,232	432,518	87,714	前年度より
6、繰入金	0	0	0	
合計	2,710,000	2,716,000	-6,000	

【支出の部】 (単位:円)

科目	予算額	前年予算額	増減	備考
1、神事費	30,000	30,000	0	玉串料(旭川神社・北海道護国神社・日高支所神社)
2、負担金	309,500	329,000	-19,500	会員贈去金226,500円(1,500円×151名)、地区贈去金5万、早賀至礼応答3千、日本金協北海道本部3万
3、事務通信費	300,000	300,000	0	事務郵便料・事務所費
4、会議費	300,000	300,000	0	
①会議諸費	150,000	150,000	0	
②役員旅費	150,000	150,000	0	役員交通費補助、打切支出
5、活動費	1,500,000	1,500,000	0	
①事業費	700,000	700,000	0	交際総会・研修会30万、新春研修会ほか
②広報費	300,000	300,000	0	通信作成費・送料送料、ホームページ維持費
③神青協関係費	500,000	500,000	0	神青協出向補助50万 打切支出
6、慶弔費	50,000	50,000	0	祝儀・弔電・葬儀玉串料
7、会長交際費	70,000	70,000	0	会長交際費補助、打切支出
8、雑費	40,500	27,000	13,500	
9、積立金	50,000	50,000	0	本年度積立金
10、予備費	60,000	60,000	0	
合計	2,710,000	2,716,000	-6,000	

2、積立金

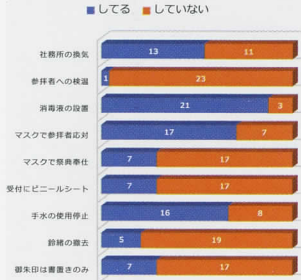
科目	期首残高	取崩予算額	期末予想残高	備考
積立金	4,467,419	0	4,467,419	
合計	4,467,419	0	4,467,419	

# 北海道の神社における 新型コロナウイルスの影響(四月下旬調査)

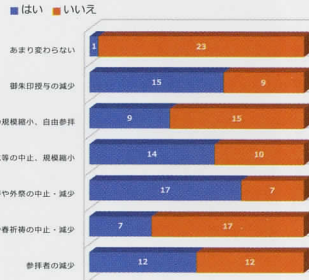
新型コロナウイルス感染拡大の影響は神社界にも及んだ。

北海道神社庁の会議や研修が次々と延期や中止となり、北海道神道青年協議会(以下道神青協)でも、三月から六月までの役員会  
は対面で行わず、WEB会議サ  
ビスZoomを利用しオンライン

新型コロナウイルス対策として行ったこと  
調査時期 4月下旬調査 調査対象 道神青協役員24人



新型コロナウイルスの社務への影響  
調査時期 4月下旬調査 調査対象 道神青協役員24人



コロナウイルスの調査アンケート(図1)

シートの設置、手水の使用停止などの対応がなされ、(写真①)多くの神社でコロナ終息祈願祭が行われている。



社務所受付を透明仕切り(写①)

北海道神宮では、参拝者同士のソーシャルディスタンス(社会的距離)を確保し(写真②)、連休中

にて行われた。

そういった状況に伴い道神青協では、去る四月にコロナの影響を調査するべく道神青協役員二十四人にアンケートを実施した。(図1)

アンケート結果を見ると、早いところでは二月から、遅いところでも四月には、マスク着用の参拝者対応、消毒液や受付ビニール

の祈願停止や授与所閉鎖等の措置を取り、在宅勤務を取り入れた。また、ある神社では参拝者への検温や、向拝の鈴緒への接触禁止などの徹底した対応もなされた。(写真③)



鈴緒の接触禁止(写③)

北海道神宮(写②)

例祭も多くの神社で規模縮小の決断をしている。現在(七月上旬)の道内感染者数の推移からすると祭典での感染拡大の可能性は低いのかも知れない。とはいえ、時節柄氏子の理解を得ることが難しい、飲食店をはじめ多くの事業所の経営が危機的状況の中で寄付集めが難しい、といった理由から、今

年例祭のみ奉仕し、神輿渡御や神楽などの神振行事や露店、演芸等の中止を決断した神社が多い。そんな中、催しを行う決断をした神社もある。釧路の厳島神社では、神輿渡御は中止したものの、子ども縁日や境内イルミネーションを行った。当別神社では担ぎ神輿は中止するものの、車上渡御や露店を行うという。

今後の神社維持運営に不安の声も多い。ほとんどの神社において参拝者や御朱印授与、祈願や外祭が激減し、結婚式や大規模な竣工式も軒並み中止となるなど歳入が減少している。しかも宗教法人は、中小企業や個人事業主向けの持続化給付金の支給対象外となるなど、国からの支援も受けられない。また、祭典寄付金の中から神社維持費を繰り出している神社もあり、そういった神社は例祭の寄付集めを自粛した場合、一年分の維持費を得る機会を失う。さらに、この影響は正月にも及ぶ可能性が高い。

コロナが収まらない中で、またはコロナ終息後の神社維持運営方法の模索は神社の急務であり大きな課題だ。

刈田神社

禰宜 大西俊之

## 神道青年全国協議会 新型コロナウイルス感染症流行疫病早期終息祈願祭

去る令和二年五月六日、新型コロナウイルス感染症流行という国難に際し、祭祀をもって公に奉じる神職の責務を果たし、同時に神明奉仕の姿を国民に知ってもらうことで地域の御祭神との繋がりを感じてもらう。という趣旨の下、すでに全国の神社では終息祈願祭が斎行されていたが、一日も早い終息を願い、全国の会員が申し合わせ同日に早期終息祈願祭を斎行することとなった。

当日は道神青協会員にも周知を徹底し、それぞれのご社頭において祈りを捧げた。全国を見ると自身のSNSで発信をする会員も多数いたほか、地元テレビ局による取材を受けたり、Yahoo!ニュースにも取り上げられるなど反響が多かった。

日本における疫病・流行病の最も古い記録は崇神天皇五年と『日本書紀』に記されている。當時からみて、これほど文明が栄



コロナ鎮静祈願祭 一斉 日高

えても目に見えない未知のウイルスは、多大な恐怖と影響をもたらすことを身をもって体験させられた。そうした中、地域の方々と家族連れが神社に足を運び神々に祈る姿は、古来より変わらない日本人の原点であると改めて感じる事が出来る。その方たちの想いも籠め我々は日々御祭神に祈りを捧げなければならぬと感じた。

諏訪神社

禰宜 北方宏和

## 北海道神道青年協議会災害対策委員会 消毒液配布事業について

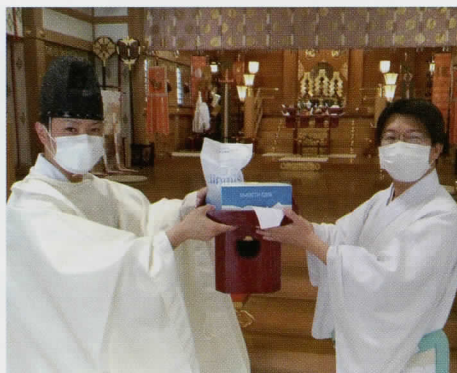
令和元年十二月に中国の武漢で新型コロナウイルスの感染が確認されてから半年以上経過しています。北海道は二月下旬より外出自粛をはじめ、早期に独自の対策を講じました。しかし、感染拡大収束の兆しがみえるも「第二派」が襲い、依然として油断できない状況にあります。

同ウイルスの影響を受け、各神社では社務時間の短縮、鈴尾の撤去、手水舎の閉鎖等様々な感染予防対策を講じながら、神社護持に努められていることと存じます。

そうした中、北海道神道青年協議会では災害対策委員会を立ち上げ、感染拡大防止の一助と



除菌の様子



配布の様子

なるべく、不足がちな除菌液の配布を決定しました。本務社を中心に事務局や理事を通してお届け致しましたので、御活用下さいますようお願い申し上げます。

日夜、政府や地方自治体、医療従事者等による奮闘が続いており、我々神職も感染防止策を積極的に実施し、一日も早く平安な日々が戻ることを願っています。

美幌神社

禰宜 井上真輔

## 第三回インスタグラム神社フォトコンテスト 「ふるさと神社めぐり」

神青協事業委員会では、令和二年四月一日から四月三十日にかけて第三回インスタグラム神社フォトコンテスト「ふるさと神社めぐり」を開催しました。本事業は国内約三千三百万人以上のユーザーが利用する通称



社  
神  
フォト  
コン  
Instagram Photo Contest  
最優秀賞  
★★★

「インスタ」を通じ、神社へ参拝する習慣のない層への教化を目的として過去二回開催され大変多くの応募を頂いた経緯があります。今回は今まで注目されることが少なかった過疎化地域を中心としたお社や、写真を見た方が故郷の魅力の再発見に繋がるようなコンテストを目指し「ふるさと神社めぐり」というタイトルにして実施する運びとなりました。

開催期間中、全国で新型コロナウイルスの感染が拡大していたことや政府による緊急事態宣言が発令されたことから開催を一旦中止すべきではという主旨のメッセージがユーザーから寄せられることもありましたが、投稿者に向けて新たに撮影しに行くことを控えて頂き応募規約

についても過去に撮影した写真のみ応募可能とするなど対策を発表しコンテストを継続しました。それ以降開催中止の声はなくなり、外出ができず楽しみが少ない中で『写真を通して神社に参拝した気持ちになる』などの応援メッセージや地元的神社を紹介される喜びの声なども多く頂きました。外出自粛を呼びかけつつも過去の写真による応募も可能としたことで、全国各地の四季折々様々な写真が集まり、これを機に参加を試みる新規の投稿者が増え、期間中過去最多となる約一万七千五百件の応募を頂いた。フォロワー数は約四千人増加し現在約二万九千人のフォロワー数に至っており、引き続き事業委員会では神社に関わる様々な写真を紹介し活動を継続してゆく次第です。

世の中が大変な状況下での開催でありましたが、『事態が終息したら紹介された神社に行ってみよう』という声が多く寄せ



社  
神  
フォト  
コン  
Instagram Photo Contest  
優秀賞  
★★

られ、事業を中止せず継続して良かったと事業委員会一同実感しております。一刻も早い事態の終息をお祈りすると共に皆様「ふるさと神社めぐり」のできる世の中になった時、改めてコンテストの開催を実施することができましたら幸いです。

神道青年全国協議会事業委員

荒木直弥



↑表彰動画はこちらから  
ご覧いただけます

去る令和元年五月二日、アリオ札幌で開催された北海道神道青年協議会による天皇陛下御即位奉祝事業、「奉祝 天皇陛下御即位くみんなどで祝おう平成から令和へ」が令和元年度、神青協定例表彰において優秀事業賞に選ばれました。  
YouTubeで結果発表が配信されていますので、ご確認ください。

## 神道青年全国協議会 令和元年度 定例表彰

## 北海道神道青年協議会の ホームページをリニューアルしました



リニューアルに伴い、**アドレスが変更になります**

旧 : <http://www.doshinsei.jp/>



新 : <https://www.doshinsei.net/>

令和2年5月30日以降旧アドレスにはアクセス出来なくなります。

リンクされている方は恐れ入りますが、新しいアドレスに変更をお願い致します。



↑新 HP QRコード



北海道神道青年協議会

# 新入会員紹介

- 1 生年月日
- 2 奉務神社・役職
- 3 単位会名
- 4 出身地
- 5 趣味
- 6 意外な特技
- 7 今ハマっているマイブーム
- 8 友達から呼ばれるニックネーム
- 9 今一番欲しいもの



そりはし  
**反橋 潤也**  
じゆんや

- 1 平成二年三月二日
- 2 札幌護国神社・禰宜
- 3 文月会
- 4 北海道札幌市
- 5 読書、水泳、温泉めぐり
- 6 ビアノ演奏
- 7 部屋の模様替え、断捨離
- 8 そりさん、そりちゃん
- 9 最新のマッソージ機



かまだ  
**鎌田 篤嗣**  
あつし

- 1 平成七年八月二十一日
- 2 北海道神宮・権禰宜
- 3 文月会
- 4 北海道
- 5 キャンプ
- 6 燻製
- 7 料理
- 8 アツシ
- 9 大きなテント



もり  
**森 宣暁**  
のぶあき

- 1 平成十年三月二十二日
- 2 篠路神社・権禰宜
- 3 文月会
- 4 北海道札幌市
- 5 バドミントン
- 6 ペン回し
- 7 カメラ
- 8 のぶさん
- 9 車の免許



いがらし  
**五十嵐 久承**  
ひさつぐ

- 1 平成七年十月二十四日
- 2 鷹栖神社・禰宜
- 3 上川神道青年会
- 4 北海道
- 5 ネットサーフィン、音楽観賞
- 6 作曲
- 7 作画(油彩と水彩)
- 8 ひーちゃん、ガラス
- 9 車



さとう  
**佐藤 直諭**  
なおつぐ

- 1 平成五年七月二十四日
- 2 羽幌神社・禰宜
- 3 留萌青年神職会
- 4 北海道苫前郡羽幌町
- 5 弓道・散歩
- 6 弓道初段
- 7 ネット通販で中古品を探す
- 8 特になし
- 9 新しいノートPC

北海道神道青年協議会事業品  
**『北海道の御朱印帳』**  
大好評頒布中

頒布価格(送料別)

# 一冊 千円

※お求めは左記までご連絡下さい。

北海道神宮内事業品受付事務局  
電話 〇一一一六一一一〇二六一  
FAX 〇一一一六一一一〇二六四



御朱印帳

## お詫びと訂正

通信77号、令和元年度協賛社一覧において誤表記がありました。謹んでお詫び申し上げます。

誤↓【宗谷】 厳島神社 (江差)  
正↓【宗谷】 厳島神社 (枝幸)

誤↓【後志】 刘太神社  
正↓【後志】 狩太神社

## 編集後記

先ずは世界中で蔓延する新型コロナウイルスにより亡くなられた多くの方々によりお悔やみを申し上げます。

また、令和二年七月豪雨災害により、尊い命を落とされた多くの方々によりお悔やみを申し上げます、被災された方々にお見舞い申し上げます。通信七十八号発行に際しまして、社務御多忙の中、御寄稿頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

現在も余談を許さない新型コロナウイルスの影響により、当会も様々な事業が中止となる中、形を変え、今我々に出来る事を模索しながら活動を展開して参りたいと思います。

未だ続く厳しい現況ではあります。が、より一層会員相互の結束を強め活動を展開していきたいと思っております。

先輩諸兄をはじめ御関係の皆様には今後とも御支援と御協力をお願い申し上げます。

(枝廣)

## 題字『道神青』について

本通信は、平成四年二月一日創刊に当たり、当時の中野尹亮北海道神社庁庁長に御揮毫戴いたものです。

北海道神道青年協議会事務局  
当別神社社務所内

電話 〇一三三二二二二二五四六  
FAX 〇一三三二二二二二六九〇  
メール omnihopter1109@gmail.com